

## ホログラフィック・コンタクトレンズディスプレイの基盤技術に関するシンポジウム開催のご案内

拝啓

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

本年度より、当社、国立大学法人東京農工大学、国立大学法人徳島大学、学校法人早稲田大学、シチズンファインデバイス株式会社が公募事業に採択を受けた『革新的情報通信技術（Beyond 5G(6G)) 基金事業 要素技術・シーズ創出型プログラム2023』（国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT（エヌアイシーティー））の委託研究）に関する、映像情報メディア学会立体メディア技術研究会主催のシンポジウムがシード本社ビルにて開催されます。医療関係者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

敬具

### ■ホログラフィック・コンタクトレンズディスプレイの基盤技術に関するシンポジウム

内容：コンタクトレンズディスプレイは、次世代のAR技術における視覚インターフェイスデバイスとして期待されています。しかし、その実現には超小型・超薄型な電子デバイスや光学系の研究開発が必要となり、実現の難易度が非常に高い技術です。本年度、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の受託研究（革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業）としてコンタクトレンズディスプレイを実現するプロジェクトが始まりました。本プロジェクトは、ホログラフィーを原理とする我が国独自の表示原理を用いたもので、実現のための基盤技術の研究開発を行います。本シンポジウムでは、プロジェクトの内容について紹介いたします。

日時：2024年6月27日（木）13:00～

場所：シード本社ビル2階（東京都文京区本郷二丁目40番2号）

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅下車すぐ

都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅下車徒歩1分

主催：映像情報メディア学会立体メディア技術研究会

参加受付：[映像情報メディア学会の専用ホームページから](#)

参加費：2,500円（映像情報メディア学会会員は1,500円）



参加受付用QRコード

プログラム：

- 13:00 オープニングリマークス 山本 健詞 教授（徳島大学）
- 13:05 プロジェクトへの期待 浦壁 昌広（当社 代表取締役社長）
- 13:10 プロジェクト全体説明 高木 康博 教授（東京農工大学）
- 13:35 像形成技術 高木 康博 教授（東京農工大学）
- 14:00 超小型・超薄型空間光変調器 安藤 智宏 様（シチズンファインデバイス）
- 14:25 休憩
- 14:35 電子デバイス技術 三宅 丈雄 教授（早稲田大学）

- 15:00 コンタクトレンズ内蔵技術 木下 卓 (当社)  
15:25 視機能への影響 水科 晴樹 客員准教授 (徳島大学)  
15:50 クロージングリマックス 三宅 丈雄 教授 (早稲田大学)

以上

〈本件に関するお問合せ〉

株式会社シード デバイス技術部 : [holo\\_symposium@seed.co.jp](mailto:holo_symposium@seed.co.jp)

〈映像情報メディア学会立体メディア技術研究会 お問合せ先〉

委員長 高木康博 (東京農工大学大学院工学研究院)

Mail : [ytakaki@cc.tuat.ac.jp](mailto:ytakaki@cc.tuat.ac.jp)